

松山まちなか**瓦**版

NO. **9**

発行 / 松山市中心市街地活性化協議会
■松山商工会議所 TEL 089(941)4111
■まちづくり松山 TEL 089(998)3533
Mail m_central2007@canpan.info
発行日 / 2011年1月31日

実は・・・

松山の街 大街道・銀天街・まつちかだけじゃないんです 南ぎんてんへいらっしやい

今も昔も中央商店街と言えば大街道、銀天街、まつちかを思い浮かべる人が多いはず。しかし、いろいろな魅力的な通りがあるのを皆さんはご存知ですか?その一つが今回ご紹介する南銀天街、通称南ぎんてんです。

南ぎんてんは大街道と銀天街のちょうど真ん中から南へ延びる80メートルに約22の商店が並ぶ商店街です。平成21年に通りの中心に位置するのが大衆演劇の劇場と映画館の入ったビル・マツゲキのリスタート計画の策定が行われました。通りの代表ともいえるこの劇場のリニューアル計画は、通りで商売をする若手の経営者も交えて、街の将来像も描きながら立案されました。そんな取り組みの中で組織されたのが通称・南銀天商店会青年部です。



◀西山和利さん
松劇のリニューアル計画は、改めて私たちの街の将来について考えるきっかけになりました。

中心として活動をするのが松劇の1階で若者向けの衣料品店を経営する西山和利さんです。一人でも多くの人に南ぎんてんに足を運んでもらいたい、そのためには、まずは南ぎんてんの存在を知ってもらう事が大切!ということで、夜市にはじまり、秋まつり、クリスマスと手づくりのイベントを開催しています。「南ぎんてんはいつも楽しいことやっているよ、と言ってもらえるような、そんな街にしていきたい。多くのイベントが手づくりなので大変な面もありますが、楽しみながらやっています」イベントの参加者から次のイベントのアイデアが出る等、活動の輪が広がっている様子です。手づくりだからこそ出来る新しい取り組みをこれからも意欲的に続けていきたいと語る南ぎんてんの次のイベントは春まつりの予定です。乞うご期待ください。

みなさんのご意見をお待ちしております

中心市街地活性化に向けた様々な取り組みがそこで暮らす人や働く人の思いに沿ったものとなるようみなさんのご意見をお待ちしています。

ホームページで松山市中心市街地活性化の情報を見ることができます

協議会関連の情報をはじめ、松山の中心市街地の活性化に関わるさまざまな情報を掲載しています。



▲大にぎわいの南ぎんてん。ライブにミニSL、商店街のゆるキャラアイドル「みかボン」としてのボン”も駆け付けました。

現在、南ぎんてんのホームページ2月下旬を目標に作成中!お楽しみに!



▲イベント毎に作られるにぎやかなPRチラシ

m_central2007@canpan.info

<http://www.m-machinaka.com/>

全国中心市街地活性化 まちづくり連絡会議

- 日 時 / 2010年10月6日 (水) ~7日 (木) 第7回勉強会 in 松山
- 場 所 / 国際ホテル松山・松山中心市街地



日本各地で中心市街地の活性化を目的に活動しているまちづくり会社の連絡会である「全国中心市街地活性化まちづくり連絡会議」の第7回勉強会が我がまち松山で開催されました。今回の勉強会には、24社73名（賛助会員等含）と多数の皆様にご参加頂きました。

第1日目

はじめに、鈴木会長（豊田まちづくり株）から、「正岡子規を輩出した松山市で、これまでの勉強会で最も多い参加者を迎え、第7回勉強会が開催できることを嬉しく思う。準備をして下さった松山市、(株)まちづくり松山及び松山商工会議所、多数の出席を頂いた国交省(後援)、経産省他皆様へ御礼を申し上げます。また現在、会員数は57社で本年より会費有料化を実施し、本格的な自主運営を開始した」等のご挨拶とご報告を頂きました。

次に、開催地を代表し、松山市の稲葉副市長より、「松山市は人口減少や少子高齢化により中心市街地にかかる課題が顕著に表れている。地域が一体となった取り組みが必要であり、坂の上の雲ミュージアムや坊ちゃん列車など官民連携による街づくりの取組みを進めている。今後も“いで湯と城と文化のまち”松山の活性化に取り組み、オンリーワンの街を目指す」と説明を交えたご挨拶を頂きました。

続いて、来賓として国土交通省都市・地域整備局まちづくり推進課鹿子木企画専門官より、「“新成長戦略”の中で掲げられた“新しい公共”は、まちづくりの分野で言えば“まち会社”が新しい公共の担い手そのものである。今後の施策・支援を積極的に考えている」等のご挨拶を頂きました。

その後、(株)まちづくり松山の日野社長より「多くの方々の出席を頂いた御礼と、パネルディスカッションでは、松山での取組に関わる多くの関係者が話をする事となり、出席者の皆様にとって有意義なものとなることを期待する」旨の御挨拶を頂きました。

■現況発表

『中心市街地活性化について』と題し、松山市の4つのセクションより、それぞれの取組内容について発表を頂きました。主な内容は以下の通りです。

●中心市街地活性化の現状

(総合政策部坂の上の雲まちづくりチーム)

- ・中心市街地を巡る状況や旧法に基づく中心市街地活性化基本計画の取組み

- ・現在の松山市中心市街地活性化基本計画（平成20年11月認定）の概要や主な取組み

●中心市街地活性化に向けた再開発の取組み（都市整備部都市開発課）

- ・中心市街地における戦後の戦災復興土地区画整理事業を始めとする経緯から、現在の再開発計画や取組み

●中心市街地の商業振興について（産業経済部地域経済課）

- ・中心商店街の現在の状況
- ・商業活性化戦略や取組み

●観光客で賑わい続けるまちへ（産業経済部観光産業振興課）

- ・現在の観光分野における課題
- ・『坂の上の雲』のまち松山の観光まちづくり事業についてのビジョンや事業概要

■パネルディスカッション まとめ

民間でできるまちづくり活動は、協働が欠かせないものになる。松山市では、松山青年塾という活動が官民の協働の種まきにつながり、商店街マネジメント事業が官民の協働の苗床となり、まちづくり松山の活動が協働の芽を出すきっかけを作った。さらに、協働の重要性に気づいた人たちが、お城下松山を設立し、民民による協働事業を構築している。これらの協働に向けた取組みが、駒を生み出す元となっている。協働に必要なものは何と言っても目標の共有であり、今のままではだめだという危機感の共有でもある。

第2日目

■現地視察

第2日目は、朝、会場ホテルにて30分ほどの概要説明の後、松山市の中心市街地の現地視察を実施しました。約60名の参加の中で2班に分かれ、(株)まちづくり松山、松山市及び松山商工会議所の職員の皆様により、約2kmにわたる行程を3時間ほどかけて御案内頂きました



▲大街道のチャレンジショップやローブウェイ駅舎のえひめイズムを視察して回りました。